

質問書に対する回答

件名) 東水戸道路 常澄高架橋耐震補強設計

No.	質問箇所	質問事項	回答
1	特記仕様書 2-6 橋梁耐震補強設計 既設橋梁動的解析、2-7 橋梁耐震補強 耐震補強動的解析 (レベル 2 地震動)	元石川高架橋はPC3径間連続箱桁×2橋、PC3径間連続中空床版橋×2橋という構成になっています。この場合において積算の考え方は、同時に同一上部工形式で、同一径間数の橋梁を2連以上動的解析する場合となり、2連目以降は70%として計上という積算基準書に従い、PC3径間連続箱桁、PC3径間連続中空床版橋それぞれの2連目以降として、技師B15.25人工×10.675人工(70%) + 技師B15.25人工×10.675人工(70%)という考え方でよろしいでしょうか。または、1連の橋梁 (3径間の橋梁×4橋=12径間) として単柱式33.376人工として考えればよろしいでしょうか。また後者の場合、常澄高架橋は、どのように考えればよいかご教授ください。	元石川高架橋は一体の4連を2次元モデル作成、常澄高架橋についても一体の2次元モデル作成で考えております。積算方法については御社の積算基準に基づき積算ください。